

〔会告〕 1997年通常総会議事録

国際ジオシンセティックス学会日本支部

日時：平成9年2月14日（金）15:00～16:00

場所：（社）地盤工学会 会議室

出席者：福岡支部長ほか 167名（委任状出席を含む）

議事：

1. 開会宣言

岩崎幹事長から出席者15名、委任状142名合計167名で日本支部規定である全会員数の10分の1以上の条件を満たしており、総会は成立する旨開会宣言があった。（当日出席者は最終的には19名となった）

2. 議長選出

岩崎幹事長から規定により、福岡支部長を議長に選出することを諮り、満場一致で可決され、福岡支部長が議長に就任した。

3. 議長挨拶

福岡議長から議長挨拶として、創立以来の歴史、IGS全体に占める日本支部の地位にふれ、更にテクニカルコミッティの強化、会員の対外活動の評価、支部長選挙などについての所見表明がなされた。

4. 1996年度 事業の報告

事務局から別紙資料（議題4 1996年度事業の報告）に基いて報告があった。

5. 1996年度 収支決算の報告

会計幹事（代理藤田氏）から別紙資料（議題5 1996年度収支決算の報告）に基いて報告があった。

6. 1996年度 会計監査報告

山田幹事（会計監査担当）から別紙監査報告書のとおり、監査結果は適正かつ正確である旨の報告がなされた。

次いで、以上の1996年度事業の報告及び収支決算の報告を満場一致で承認した。

7. 1997年度 事業の計画

事務局から別紙資料（議題7 1997年度事業の計画）に基いて説明があった。これと関連して福岡議長より龍岡教授マーサーレクチャーの日本版及びNAGSの報告会開催について提案があり、また、巻内幹事から試験法について講演会を地盤工学会と共催する提案があり、いずれも今後行事委員会で具体化を検討することとなった。更に、今泉行事委員長から、計画をすすめている学生セミナーにつき、各大学からの中間情報として60～70名の出席が見込めるとの報告があった。

8. 1997年度 予算の計画

会計幹事（代理藤田氏）から別紙資料（議題8 1997年度予算の計画）に基いて説明があった。次いで、以上の1997年度事業の計画及び予算の計画を満場一致で承認した。

9. 1997年度 一部役員の変更

一部役員の変更として、幹事任期満了の龍岡文夫氏の再任、今泉繁良氏の新任及び鶴岡胤英氏の辞任が提案され満場一致で原案通り承認された。なお、上記の再任及び新任幹事の任期は、特例として1年とし、次期通常総会において幹事全員の改選を行うことも提案され、満場一致で承認された。

10. 規定の改定

別紙資料に記載のように、支部長を全会員の選挙によって選出することに伴う、役員の出選規定の一部改定及び学生会員の強化対策として、学生会費を年額3,000円から1,000円に引き下げるための規定一部改定の2件を盛り込んだ改定案が提案され、原案通り満場一致で承認された。

11. 閉会挨拶

以上で所定の議事はすべて原案通り承認され、議長の閉会挨拶で総会を終了した。

なお、総会終了後、次の2件につき意見交換、協議が行われた。

1. 今後、実施される予定の支部長選挙について、新井総務企画委員長から、同委員会W/Gで検討中のスケジュール案及び選挙細則案の説明があり、これに対する会員の意見を求めていくこととなった。(この件は本誌にも掲載されている)

2. ジオメンブレン技術委員会の今後につき、堀口委員長から問題提起された。即ち、同委員会関係者のアンケート結果では継続希望が90%だが、実際に委員会メンバーとしての参画にはもうすこし消極的になる。また、とりあげるべきテーマは3件ほどにまとめられるが、まだしぼりきれていない。したがって、このままでは4月23日のセミナー以後は何もきまっていない。以上の問題提起に対して、巻内幹事からは是非継続すべきとの強い意見がだされ、結局、現委員会の有志で今後についての案を作成し、6月の幹事会で検討して方針決定することになった。

引続き懇親会が開催され、出席者一同歓談のひとときをすごした。

(記 大倉史郎)

'97通常総会資料（議題4 1996年度事業の報告）

1. 会員数（1996年12月）

個人会員 196 特別会員 21 学生会員 14 計 231

2. 刊行物の発行

- 1) 国際ジオシンセティックス学会日本支部会員名簿（3月）
- 2) ジオシンセティックス技術情報（日本支部ニュース）（3月、7月、11月）
- 3) 国際シンポジウムテキスト—Recent case histories and developments in the design of geosynthetic-reinforced soil retaining walls（11月）
- 4) IGSビデオ—交通施設におけるジオシンセティックス—和英解説書（9月）
- 5) 第11回ジオシンセティックスシンポジウム発表論文集（12月）

3. 開催した行事

- 1) 国際シンポジウム—ジオシンセティックス補強土擁壁の設計における最近の施工例と進展（11/9 東大生産技術研究所 参加120名）
- 2) 第11回ジオシンセティックスシンポジウム（12/3 中央大学駿河台記念館参加70名）

4. 委員会等の活動

- 1) 1996年度通常総会 2月21日
- 2) 幹事会（幹事長 岩崎高明） 4回（3/25 6/14 9/11 12/9）
- 3) 総務企画委員会 8回（3/11 4/5 5/10 6/14 7/12 9/11
（委員長 新井 斉） 10/11 12/9）
- 4) 編集委員会（委員長 赤木俊允） 3回（4/15 8/26 12/9）
- 5) 同 上 W/G 10回（3/4 3/18 3/25 4/5 6/26 7/16
8/7 10/29 11/18 11/22）
- 6) 行事委員会（委員長 今泉繁良） 6回（4/5 9/4 10/11 10/28 11/22 12/3）
- 7) ジオメンブレン技術委員会 9回（1/29 2/29 3/29 4/19 5/29 6/21
（委員長 堀口隆司） 7/24 9/3 10/18）
- 8) 構造解析実用化技術委員会 1回（11/11）
（委員長 龍岡文夫）

5. IGS本部の関連

- 1) 理事会への出席（9/28-29 マーストリヒト）赤木理事、龍岡理事
- 2) 英文名簿の送付
- 3) その他報告及び連絡

'97通常総会資料（議題5 1996年度 収支決算の報告）

1996年（平成8年度）決算書
（自 平成8年1月1日～ 至 平成8年12月31日）

1997年1月24日
会計幹事 丸山 健吉

（収入の部）

科目	予算	修正案	実績	備考
1. 会費収入				
個人	8,000 210名 1,680,000-	190名 1,520,000-	220名 1,760,000-	
特別	240,000 23社 5,520,000-	22社 5,280,000-	22社 5,280,000-	
学生	3,000 20名 60,000-	10名 30,000-	10名 30,000-	
(小計)	(7,260,000)	(6,830,000)	(7,070,000)	
2. 講習会テキスト代	300,000	300,000	460,000	
3. シンポジウム論文集	300,000	300,000	166,000	
4. 出版物収入	100,000	300,000	353,500	
5. IGS本部還付金	0	200,000	191,801	
6. 受取利息	10,000	5,000	1,181	
小計	7,970,000	7,935,000	8,242,482	
7. その他（広告費）	200,000	400,000	404,000	
その他	0	526,000	502,000	
ビデオ代	0	0	258,000	
8. 前年度繰越金	658,470	658,470	658,470	
合計	8,828,470	9,519,470	10,064,952	

（支出の部）

科目	予算	修正案	実績	備考
1. 国際学会費				
個人	30ト ^ル 210名 680,400-		201名 647,905-	
特別	1,000ト ^ル 23社 2,484,000-		22社 2,339,700-	
(小計)	(3,164,400)	(3,000,000)	(2,987,605)	
2. 国際会議派遣費	750,000	750,000	0	
3. 技術情報発行費	1,000,000	1,200,000	1,200,764	
4. 講演会シンポジウム開催費	800,000	800,000	919,097	
5. ジオインプレ技術委員会費	200,000	100,000	41,000	
6. 構造解析の実用化委員会費	100,000	100,000	0	
7. その他委員会費	300,000	200,000	213,085	
8. 事務経費	100,000	100,000	100,000	
9. 備人費	1,000,000	1,400,000	1,420,660	
10. 消耗品費	100,000	50,000	67,950	
11. 通信費	300,000	350,000	588,801	
12. 手数料	30,000	30,000	33,646	
13. 積立金	0	0	0	
14. その他	50,000	100,000	70,300	
15. 予備費	0	0	385,444	ビデオ代
16. 前期未払分引き当て	1,600,000	1,650,000	1,649,774	
小計	9,494,400	9,830,000	9,678,126	
17. 次年度繰越金	▲665,930	▲310,530	386,826	
合計	8,828,470	9,519,470	10,064,952	

監査報告書

国際ジオシンセティックス学会日本支部の平成8年度一般会計について帳簿
証票・書類等を検証の結果、適正かつ正確であることをご報告申し上げます。

平成9年2月14日

会計幹事

堀家 茂



会計幹事

山田 知正



'97通常総会資料（議題7 1997年度事業の計画）

1. 会員数拡大のための活動

	個人会員	特別会員	学生会員	計
1996/12	196	21	14	231
1997（目標）	210	22	20	242

2. 刊行物の発行

- 1) 国際ジオシンセティックス学会日本支部会員名簿（3月）
- 2) ジオシンセティックス技術情報（日本支部ニュース）（3月 7月 11月）
- 3) 第3回ジオメンブレン技術セミナーテキスト（4月）
- 4) ジオシンセティックス入門－学生セミナーテキスト（7月）
- 5) 第12回ジオシンセティックスシンポジウム発表論文集（12月）

3. 行事の開催

- 1) 第3回ジオメンブレン技術セミナー（4月23日）
- 2) 学生セミナー（7月）
- 3) 国際会議報告会（10月）
- 4) 第12回ジオシンセティックスシンポジウム（12月）

4. 委員会等の活動

- 1) 1997年度通常総会 2月14日
- 2) 幹事会（幹事長 岩崎高明） 4回（3、6、9、12月）
- 3) 総務企画委員会（委員長 新井 齊） 毎月
- 4) 編集委員会（委員長 赤木俊允） 3回（3、7、11月）
- 5) 同上 W/G 10回程度
- 6) 行事委員会（委員長 今泉繁良） 随時
- 7) ジオメンブレン技術委員会 新組織、新メンバーで第2次委員会スタート
- 8) 構造解析実用化技術委員会 3月（ロングビーチ）IGS本部委員会
（委員長 龍岡文夫）

5. IGS本部の関連

- 1) 理事会への出席（3月 ロングビーチ）
- 2) 英文名簿の送付
- 3) その他報告及び連絡

'97通常総会資料（議題 8 1997年度 予算の計画）

1997年（平成9年度）予算案
 （自 平成9年1月1日～ 至 平成9年12月31日）

1997年1月24日
 会計幹事 丸山 健吉

（収入の部）

科 目	予 算	備 考
1. 会費収入		
個人 8,000	190名 1,520,000-	
特別 240,000	22社 5,280,000-	
学生 3,000	10名 30,000-	
(小 計)	(6,830,000)	
2. 講習会テキスト代	300,000	
3. シンポジウム論文集	300,000	
4. 出版物収入	300,000	
5. I G S本部還付金	200,000	
6. 受取利息	5,000	
小 計	7,935,000	
7. その他（広告費）	400,000	
その他	0	
ビデオ代	0	
8. 前年度繰越金	386,826	
合 計	8,721,826	

（支出の部）

科 目	予 算	備 考
1. 国際学会費		
個人 30ドル	180名 648,000-	1ドル=120円
特別 1,000ドル	22社 2,640,000-	
(小 計)	(3,288,000)	
2. 国際会議派遣費	750,000	
3. 技術情報発行費	1,200,000	
4. 講演会シンポジウム開催費	900,000	
5. ジオグラフィック技術委員会費	100,000	
6. 構造解析の実用化委員会費	100,000	
7. その他委員会費	300,000	
8. 事務経費	100,000	
9. 傭人費	1,000,000	
10. 消耗品費	100,000	
11. 通信費	500,000	
12. 手数料	30,000	
13. 積立金	200,000	
14. その他	100,000	
15. 予備費	50,000	
小 計	8,718,000	
16. 次年度繰越金	3,826	
合 計	8,721,826	

'97通常総会資料（議題9 1997年度一部役員の改選）

幹事の一部改選を次のとおり実施する。

再任	龍岡 文夫
新任	今泉 繁良
辞任	鶴岡 胤英

なお、上記の再任および新任幹事の任期は、他の非改選幹事と次回改選期を合わせるため次の通常総会までとする。

新役員名簿を別紙に添付する。

'97通常総会資料（議題10 規定の改定）

1. 役員の選出に関する規定の改定

現 行	改 定
6.2 役員の選出	6.2 役員の選出
6.2.1 支部役員は通常総会で選任する。	6.2.1 支部長は別に定める選挙規定により全会員の投票によって選出する。
6.2.2 役員の任期は、選任された通常総会から次々期の通常総会までとする。ただし再任を妨げない。	6.2.2 支部長を除く他の役員は、通常総会で選出する。
6.2.3 補欠による役員は支部長が任命し、その任期は前任者の残任期間とする。	6.2.3 役員の任期は、原則として就任した通常総会から次々期の通常総会までとする。ただし再任を妨げない。
	6.2.4 補欠による役員は支部長が任命しその任期は前任者の残任期間とする。

2. 年会費の改定

学生会員の年会費を現行3,000円から1,000円に改定する。

新会費は平成9年分より適用する。

〈経過措置〉

すでに3,000円納入済のケースについては、過納分2,000円を平成10、11年の2年分の前納に充当する。

この2年の間に卒業または終了によって学生の身分を喪失した場合でも、平成11年までは学生会員の資格は継続するものとする。もし、この間に個人会員となることを希望する場合は、差額を支払うことによって個人会員となることことができる。

1997年度役員名簿（IGS日本支部）

支 部 長	福岡 正巳	東京理科大学工学部土木工学科
支 部 顧 問	田中 茂	（財）建設工学研究所
”	山内 豊聡	山内研究所
幹 事 長	岩崎 高明	三井石化産資(株)
幹 事	赤木 俊允	東洋大学工学部環境建設学科
”	阿部 裕	鹿島建設(株)土木技術本部
”	新井 斉	光が丘興産(株)
”	石丸 毅夫	(株)田中 開発部
”	伊藤 雅夫	前田建設工業(株)施工本部土木部
”	今泉 繁良	宇都宮大学工学部建設学科
”	笠原 清磨	前田工織(株)技術部
”	川崎 廣貴	清水建設(株)土木本部技術第一部
”	菊地 洋司	日特建設(株)技術本部
”	清川 伸夫	三井石化産資(株)土木資材事業部
”	熊谷 浩二	前田建設工業(株)技術研究所
”	小西 紀男	(株)クラレ 東京産資販売部
”	坂口 昌彦	大成建設(株)国際事業本部営業部
”	鈴木 茂	日本ゼオン(株)環境資材事業部
”	高橋 真一	(株)大林組 技術研究所
”	龍岡 文夫	東京大学工学部土木工学科
”	塚本 英樹	(株)建設企画コンサルタント 総務部
”	中村 和之	東急建設(株)土木技術部
”	西形 達明	関西大学工学部土木工学科
”	新田 盛一	太洋興業(株)建設資材部
”	橋詰 文伯	大都工業(株)技術研究所
”	堀口 隆司	(株)ジオトップ
”	堀家 茂一	(株)熊谷組 技術本部
”	卷内 勝彦	日本大学理工学部交通土木工学科
”	榊尾 孝之	太陽工業(株)土木エンジニアリング事業部
”	松本 一男	シーアイ化成(株)新規事業室
幹事（会計担当）	丸山 健吉	岡三興業(株)開発事業部
幹 事	三木 博史	建設省土木研究所材料施工部土質研究室
”	村田 修	（財）鉄道総合技術研究所
”	山下 恒雄	農林水産省四国農業試験場基礎整備室
”	山田 知正	東洋紡績(株)S B 事業部
”	大和 真一	旭化成工業(株)ジオ技術開発部
”	吉川 進	三菱化学産資(株)土木資材部
”	渡 義治	(株)水野工学研究所
会 計 監 事	堀家 茂一	前掲
”	山田 知正	前掲
事 務 局	吉岡 紀男	（社）地盤工学会
”	大倉 史郎	
”	熊谷 真知子	